

こんにちは！！カンボジアから Hello!! -letter from Mamiko Tanaka-

ស្ទួស្ទួ!! -សំបុត្រពីម៉មីកូ តានាកា-

「スオッスダイ！！ ソンボット ピー マミコ タナカ」



カンボジアの学校は、長～い夏休み(雨季休み)へ。小学生以上は、雨季休み前の試験に落ちたら、進級できません…。

ついに長い雨季休みに入りました。小学生以上は休み前に試験があります。追試にも合格できない場合には、もう一度同じ学年をやり直すことになります。小学校6年生クラス

カンボジア号 NO. 10
2010・7・22
青年海外協力隊：カンボジア派遣
田中真実子(大垣市立安井保育園)
mamikomima@hotmail.co.jp

には、12歳の生徒だけでなく15歳、17歳の生徒もいます。しかし、同じ学年をやり直す道を選ばず、退学してしまう生徒が多いのもカンボジアの現状です。実際に数字で表すと、小学校6年生の卒業率50%、中学校への就学率40%、高校への就学率10%となっているようです。試験でのカンニングは当たり前、教師への賄賂、就学率の低さ…などの問題があり、カンボジアの教育の発展には越えなくてはならない課題がたくさんです。



クラチェ州 クロン幼稚園 その9

「カンボジアの幼稚園で、初めての運動会を開催！！」(人数、園庭の広さなどを考慮して、学年ごとに分けて：3日間)



カンボジアの幼稚園生活の中には運動会というものはありません。運動会が必ず就学前教育の中に含まれないといけないものではありませんが、赴任後、私が特に力を入れてきた分野である「運動遊び」の延長線上として行いました。“一人では嫌だけど、友達と一緒にならやってみようかな” “仲間と力を合わせて取り組もう” “相手に負けないように頑張ろう”という気持ちを子どもたちの中に芽生えさせていくために、今回「運動会」という機会を設けたことは、園児にとっても、先生たちにとっても、良かったことだと感じています。初めての試みだったこともあり、うまくいかない点も多く、そして何よりカンボジアの暑さ…にはかないません。種目数、内容などの課題が残りましたが、今後のプランの参考にしていきたいと考えています。この運動会企画を通し、運動遊具を身近にあるものを利用し、近所の大工さん、同僚の先生たちと相談し協力して作成できたことで人と人とのつながりがさらに強くなり、また保護者に声をかけ運動会を参観しに来てもらえた点からは、運動会がカンボジアの幼児教育に刺激を与える要素になったと思います。次年度(新年度のはじまりは10月～)も、運動遊びは継続して働きかけていきたい分野のひとつです。



カンボジアたべものシリーズ⑤

～みんな大好き☆おやつシリーズ～



「肉まん？」



「蓮の実」



「焼きタマゴ」



「ワッフル」



「アイス&パン」



「カエルの唐揚げ」



「揚げパン」



「かぼちゃプリン」

まだまだ他にもいろいろなおやつがいっぱい!!
個人的に、素朴な味の蓮の実がけっこう好きです。カエルもおいしいのでオススメです♪

*** This is my house ***

私が住んでいる家は、こんな家です!! 2階部分に住んでいます。毎日のコウモリとネズミの糞そうじが大変ですが、家の広さもぴったりで過ごしやすいです。敷地内に猫がいるおかげで、ねずみは少ないようですが、時々ねずみの頭だけが落ちていることが…あります。大家さんの娘が、毎日クメール語を教えてくれ、勉強になっています(小学生の北ッ先生!!) 先日、2階のベランダから天の川を見ることができました☆



「村の子どもたちにも楽しい授業を届けたい!!」

配属先のクロン幼稚園以外にも、農村部の小学校に定期的に指導に行っています。(ドイツのNGO スタッフと連携) 州の中心部と農村部では、子どもたちの雰囲気も純粋さも異なり、家庭環境にも差があるように思います。村の子どもたちは、授業に対する意欲が高く、私の話を聞く時の目がとてもキラキラしています。数少ない訪問の中でも、村の子どもたちにとって楽しい授業が展開できるよう頑張っていきたいと思っています。



ひとくちクメール語!!

